



命を守るため、健康と安全の確保が最優先

沼津市教育長 奥村 篤

新しい年度が始まり心浮き立つこの時期ですが、私たちはいつもと違う春を迎えました。世界的大流行（パンデミック）が加速する「新型コロナウイルス感染症」の影響により、明るい話題が激減し、先行きの見えない不安や不満が募る、重苦しい雰囲気になっています。

4月7日、市内の小中学校では、薄紅色に埋め尽くされた校庭を彩る数え切れない花が、1年生の入学を祝福してくれるはずでしたが、前日に入学式や学校の再開延期が決まりました。直前まで再開の是非を協議しましたが、世界レベルで日々刻々と状況が変化中、もはや沼津市だけの状況で判断することが難しくなり、まさに苦渋の決断でした。

子供の命を守るためには、健康と安全を最優先することが何より大事です。その考えに「ぶれ」があってはならないと、何度も自問自答を繰り返しました。新1年生やその御家族をはじめ、学校再開を待ちに待っていた子供たちの心情を察すると、大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。これまで経験したことのない全国的な長期の臨時休校は、学校はもとより子供たちを取り巻く社会にどのような影響を与えるのでしょうか。世界的大流行（パンデミック）の歴史を紐解くと、100年毎に起こっているという記録があります。

1720年：フランスのマルセイユ周辺で「ペスト菌」感染により約10万人が死亡。

1820年：東南アジアで「コレラ菌」感染により約10万人が死亡。

1920年：「スペイン風邪」（インフルエンザ）が世界各地で大流行。約5億人が感染し5,000万人以上が死亡。収束に2年かかる。（日本では約45万人が死亡）

そして2020年…これだけ医学や医療技術が発達してもパンデミックは繰り返されます。しかし、人類がそれを乗り越えてきたことは事実であります。「人との接触を極力避ける」、「自宅に居る」、「不要不急の外出を自粛」。この3点をどれだけ徹底できるかが鍵を握ると、専門家の方々が口を揃えておっしゃいます。今を生きる私たちには、新型コロナウイルス感染症を教訓にして、未来に向けてどのように命を繋いでいくのかが求められます。

学校が再開されないままスタートした令和2年度ですが、未来社会で活躍が期待される、沼津市の将来を担う子供たちの元気な笑顔に励まされる1年にしたいものです。

青少年教育センターの方針・活動



1 方針

青少年の健全育成を図るため、家庭をはじめ地域・学校・警察他関係機関と連携し、補導・教育相談・研修を行います。

2 活動内容

(1) 補導

① 補導活動

中央補導と地区補導の活動の充実を図るとともに、夏まつり・県内一斉等の特別補導を行い、青少年の非行・被害防止に努めます。

② 環境浄化活動

高校生参加による落書き消しを行い、意識啓発を強化するとともに、「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」を行い、地域ぐるみの有害環境浄化活動を推進します。

③ 広報・啓発活動

青少年教育センター「たより」と年報「ねんりん」を編集・発行するとともに、「青少年の非行・被害防止街頭キャンペーン」を実施します。

(2) 教育相談

① 面接相談

不登校・発達などに関する相談全般について、面接による相談に応じます。

② 電話相談（やまびこ電話）

青少年に関する相談全般について、電話による相談に応じます。

③ 体験活動「はばたき」

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒のための体験活動を実施します。

④ 相談指導学級

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒の内、沼津市教育委員会が認めた児童生徒が通級します。

⑤ 青少年健全育成地域相談員

各地域にいる相談員が、地域の青少年健全育成活動への援助と相談を行います。

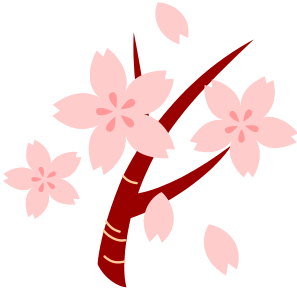
⑥ 子どもの育ちを支える講座「そよかぜ」

子どもの心や体の発達を理解するための保護者向け講座を行います。

(3) 研修

教職員研修センターが主催する「若手教員研修」における相談指導学級での体験研修を実施します。

面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など
 青少年に関する面接相談。
 ◎相談および申し込み受付時間：
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎相談申し込み：Tel.951-3440

令和2年1・2・3月の状況

各月及び令和元年度の新規相談件数、令和元年度の相談ケース数と延べ相談回数は以下のとおりでした。

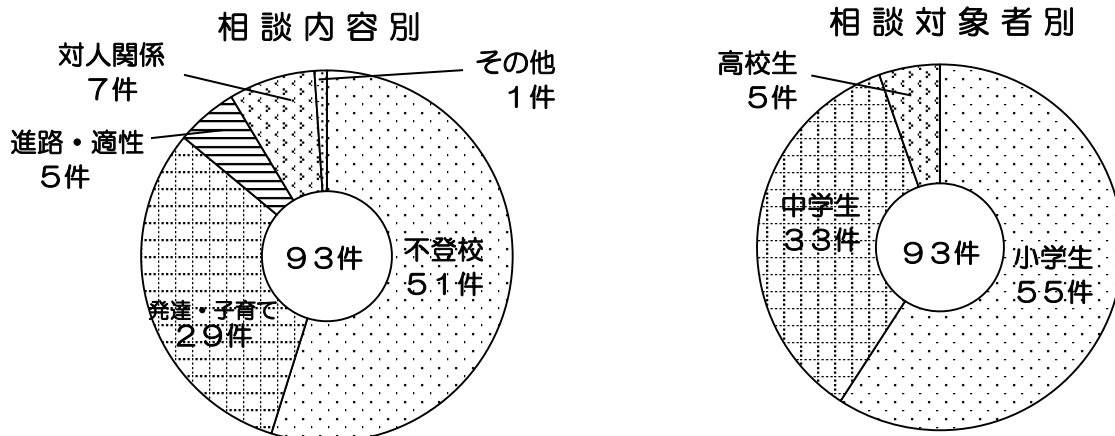
1 各月の新規相談件数（相談内容別）

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
1月	0	5	2	0	1	0	8
2月	0	2	0	0	1	0	3
3月	0	3	0	0	0	1	4

2 各月の新規相談件数（相談対象者別）

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
1月	0	5	3	0	0	0	8
2月	0	3	0	0	0	0	3
3月	0	3	1	0	0	0	4

3 令和元年度の新規相談受付状況



4 令和元年度の相談ケース数

※年度における相談者1人を相談1ケースとする

	非行	不登校	離・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
男	0	40	30	7	5	0	82
女	0	40	13	6	3	1	63
合計	0	80	43	13	8	1	145

5 令和元年度の延べ相談回数

	面接	訪問	合計
男	1,078	0	1,078
女	651	0	651
合計	1,729	0	1,729

6 はばたき活動の様子

1/22	新春お楽しみ会	(4人)
2/12	おにぎり弁当作り	(3人)
3/11	マジック教室	※中止

3学期は2回のはばたき活動を実施しました。新春お楽しみ会では、すごろくや福笑い、百人一首などの日本の遊びを楽しみました。おにぎり弁当作りでは、おにぎりの中身や大きさを工夫し、目玉焼きやウインナーを自分好みに調理しました。相談指導学級と合同で実施する予定だったマジック教室は、新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止になり、残念でした。

今年度のはばたき活動には述べ79人の子どもたちが参加しました。中止の行事もあったため、例年より人数が少なかった中で、小学生の参加が増えました。

これからも、異年齢の小集団で関わり合えるはばたき活動を通して、子どもたち一人一人に応じたよりよい支援をしていきたいと思っております。



7 相談指導学級の様子

昨年度の通級者は10人で、中学3年生が2人（男子のみ）、中学2年生が8人（男子3人、女子5人）でした。開級期間は、平成31年4月5日から令和2年3月19日まででしたが、3月は新型コロナウイルス感染症予防のため休級となり、残念な1カ月となりました。

それでも、着実に成長していく子どもたちの姿を見ることができました。初めのうちは、慣れない友達との接し方に戸惑っていましたが、計画的に実施する自主学習や様々な体験活動、スポーツなどを通して互いに助け合うようになり、最後にはすべての子どもたちが別れを惜しんでいました。

また、中学3年生は、全員希望する高校に進学することができました。「高校生活が楽しみです」「いっぱい失敗して、いっぱい成功したいです」など、新しい生活に取り組む意欲と希望を持つことができました。中学2年生は共に活動する中で、互いにいろいろなことを話し合うようになり、楽しく相談指導学級での生活を過ごせるようになりました。そのうちの2人は、通級しながら、週に数回、学校に登校するようになりました。今後の成長がとても楽しみです。

本年度も保護者の皆様や学校の先生方などと連携し、自己決定の場面をつくり、各自のエネルギーを伸ばし、「自立」を図るとともに、小集団での体験活動を通して人と円滑に関わる「共生」を学ぶ支援を行ってまいります。

電話相談

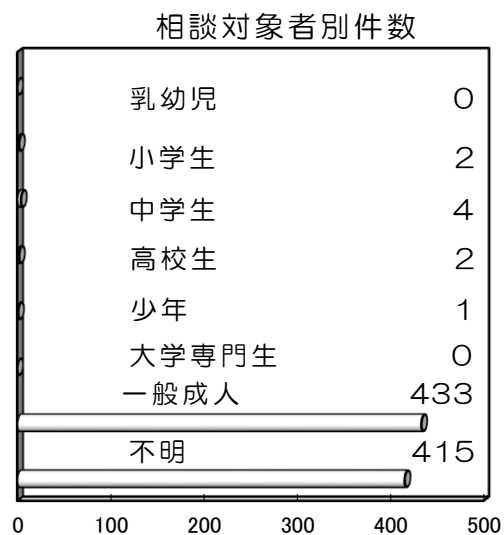
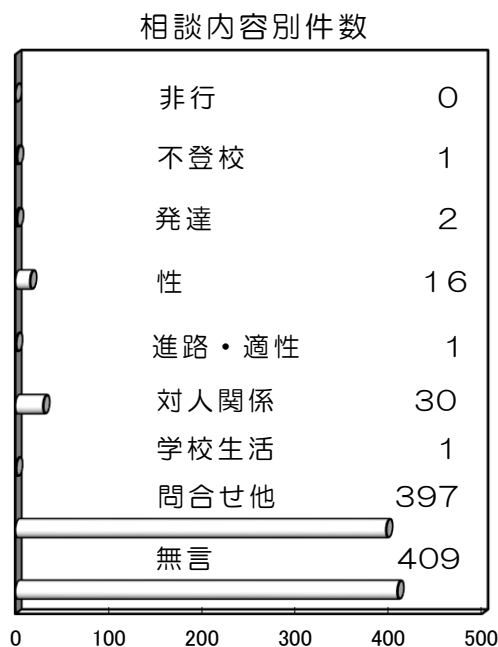


◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。
 ◎相談時間：
 午前10時～午後7時 月～金曜日(祝祭日を除く)
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

令和2年1・2・3月の状況

1月には433件、2月には225件、3月には199件の相談が寄せられました。
 (前年1月：356件、前年2月：460件、前年3月：284件)

1 1・2・3月の相談状況



2 令和元年度の電話相談受信件数状況

総件数3,525件 (前年同期4,098件)

(1) 相談内容別

	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	0	9	22	71	2	64	11	1,580	1,766

(2) 相談対象者別

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	0	10	20	10	6	3	1,695	1,781



いつでも 誰でも 見守り補導

青少年教育センター 補導担当 前田友子

現在沼津市の補導活動の拠点となっている青少年教育センターは、昭和41年に「沼津市青少年センター」として開設されました。本センターは、市民の皆さんと手を携えて、50年以上の間沼津市の青少年健全育成の一翼を担ってきました。

さて、皆さんが考える一般的な「補導」のイメージは、どんなものでしょうか。強面の補導員が、飲酒・喫煙や深夜の徘徊など悪いことをしている非行少年を見つけて注意・指導するというものでしょうか。本センターが開設された昭和の時代は、そのイメージ通りの補導活動が多かったと思います。一例を挙げると、昭和44年の補導では、飲酒35件、喫煙521件、夜遊び413件など、犯罪行為やそれに類する行為への補導が多くを占めています。

しかし、平成を経て令和の時代になり、いわゆる非行少年はほとんど見かけなくなりました。令和元年度の補導件数は、飲酒・喫煙はともに0件。最も多いのはゲームセンター入場で、408件でした。場合によっては、出歩く子どもの姿を全く見かけないこともあります。子どもの数が減ったのももちろんですが、50年余りの間に子どもたちの行動ががらりと変わってしまったのです。

現在の補導は、犯罪や事故などに巻き込まれないよう子どもたちを見守る補導です。見守りですから、いつでも、誰でも、行うことができます。買い物、散歩などちょっとした折に、少しでも近所の子どもたちに目配りをしていただけたらありがたいです。

本年度も、沼津市の補導活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

1 少年補導委員の延べ参加人数（1・2・3月）

	市職員	教員	女性 補導委員	母親 補導委員	地区代表 補導委員	警察	地区 補導委員	総数
1月	15	17	9	7	10	0	278	336
2月	9	7	3	1	6	0	267	293
3月	0	0	0	0	0	0	157	157

2 補導回数・補導状況（1・2・3月） *ぐ犯行為……将来、犯罪に発展するおそれのある行為

	補 導 回 数				不良行為等を 確認した人数	愛 の 声 かけ	法令違反・ぐ犯行為(※)に関する連絡	
	午前	午後	夜間	計			家庭・学校等	他 機 関
1月	4	12	30	46	41	158	0	0
2月	2	8	31	41	25	70	0	0
3月	1	4	19	24	6	92	0	0

3 補導活動（平成31・令和元年度の累計）

補 導 回 数	延 べ 参加補導委員数	不良行為等を 確認した人数	愛 の 声 かけ	法令違反・ぐ犯行為(※)に関する連絡	
				家庭・学校等	他 機 関
454	3,454	512	2,237	0	0

※令和2年2月26日から3月31日までの中央街頭補導は、コロナウイルス感染症対策のため中止しました。また、3月の地区補導も、同対策のため実施しなかった地区がありました。

4 1月・2月・3月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

補導委員の皆様、1年間、青少年の非行・被害防止にご尽力くださりありがとうございました。昨年度に比べ、「愛の声かけ運動」が414件も増加しました。青少年を見守り支援する意識の高まりの表れだと感じています。令和2年度も、引き続きよろしくお願いたします。

学 職 別 区 分		性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	一年間累計
行 為 種 別	飲 酒	男							0	0
		女							0	0
	喫 煙	男							0	0
		女							0	0
	薬 物 乱 用	男							0	0
		女							0	0
	夜 間 は い か い	男							0	18
		女							0	18
	不 良 交 友	男							0	0
		女							0	0
	怠 学 ・ 怠 業	男							0	0
		女							0	0
	ゲームセンター入場	男	5	9	43		3		60	224
		女	3	2	5				10	184
	パチンコ店入場	男							0	0
		女							0	0
	カラオケ店入場	男							0	1
		女							0	3
	自転車の暴走行為	男							0	4
女								0	1	
自転車の二人乗り	男							0	1	
	女							0	1	
自転車の無灯火	男							0	18	
	女							0	1	
危 険 な 遊 び	男							0	19	
	女							0	5	
そ の 他	男							0	9	
	女	2						2	5	
計		男	5	9	43	0	3	0	60	294
		女	5	2	5	0	0	0	12	218
男 女 合 計			10	11	48	0	3	0	72	512
事後指導	家庭・学校等へ連絡	男							0	0
		女							0	0
	他機関へ連絡	男							0	0
		女							0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	
愛 の 声 かけ 運 動		男	56	64	69	7		3	199	1,255
		女	63	26	30	1	1		121	982
男 女 合 計			119	90	99	8	1	3	320	2,237

情報コーナー

「学校に行く気はあるが登校できない…」 「いじめられているみたい…」 「心や体の発達が気になる…」 など
**お子さんのことでお困りのことがございましたら、
 青少年教育センターにご相談ください。**

面接相談

原則：保護者からの電話による
 申し込み **055-951-3440**

初回面接：保護者のみ

児童生徒との面接

通所面接

- ・児童生徒の行動力を高める
- ・少人数での体験活動「はばたき」への参加

学校復帰・社会的自立

・特別な手続きは必要ありません。電話でお申し込みください。

通所：青少年教育センターへ児童生徒が面接相談に来所することです。

- ・1回1時間を基本とする予約制
- ・原則1対1の個人面接

相談指導学級

集団で生活、学習することが必要であり適切であると判断された児童生徒が通うところです。

電話相談

やまびこ電話

055-951-7330

※相談は匿名で構いません。

こどもの成長を支える講座
「そよかぜ」

専門家の知見を子育てに役立てていただけるよう**臨床心理士、言語聴覚士**による講話を行っています。
 思春期における子育て、学校に行きづらさを感じている子どもの理解と対応、ことばの発達に関する内容等、子育てに役立つ内容が盛りだくさんです。

青少年教育センターの活動予定（5・6・7月の主な活動）

※新型コロナウイルス感染症予防を考え、中止や延期等の変更をすることがあります

相談指導学級体験活動		はばたき活動	
6月 4日（木）	ハイキング	5月27日（水）	びゅうお見学
11日（木）	高校見学(沼津)	6月16日（火）	「いっしょに遊ぼう」
18日（木）	創作活動	7月 2日（木）	田貫湖ハイキング
25日（木）	高校見学(三島)	補 導 関 係	
7月 2日（木）	釣り体験	6月26日（金）	補導委員会代表者会
9日（木）	農園体験	7月 6日（月）	非行・被害防止キャンペーン
16日（木）	ハイキング	13日（月）	県内一斉夏季補導

明るい子どもが育つまち

青少年健全育成
 シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言（昭和55年）

あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を優しく温かい心で包み込むという思いから、
 右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート（心）を表しています